

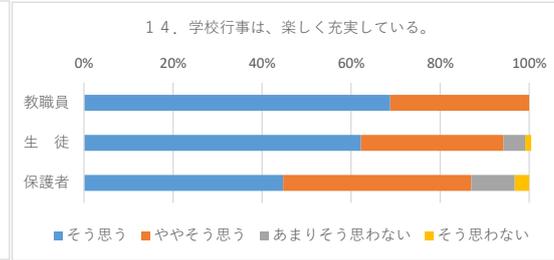
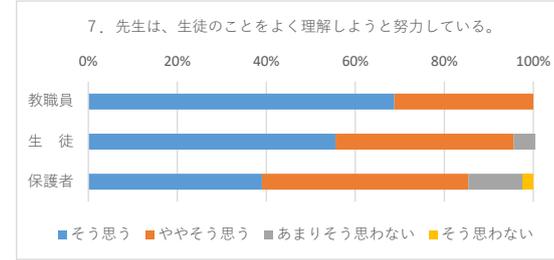
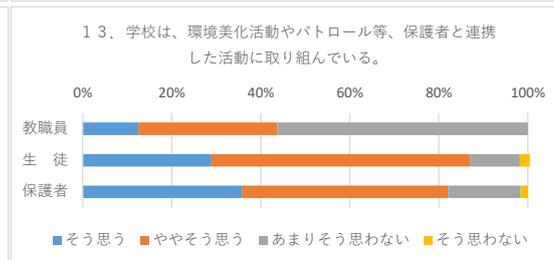
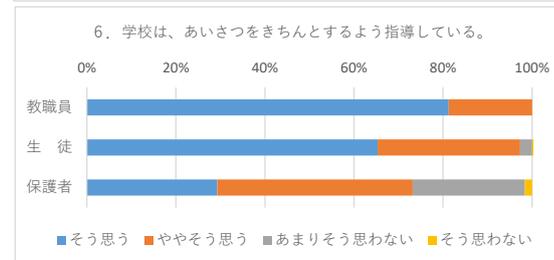
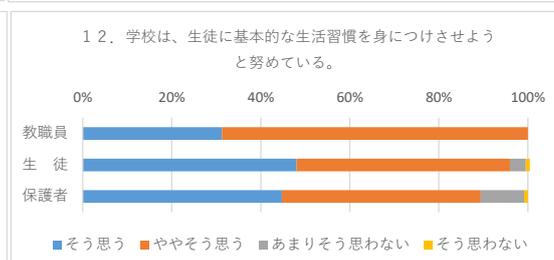
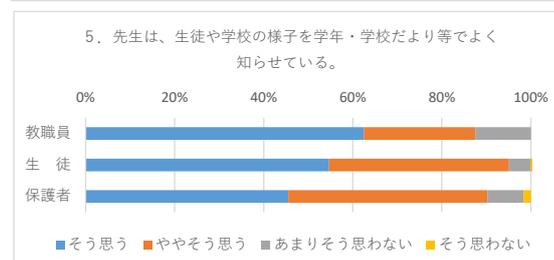
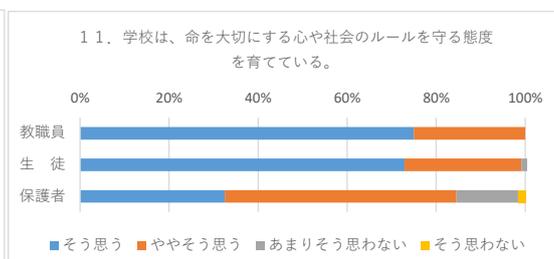
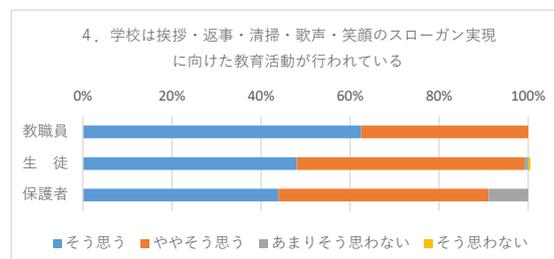
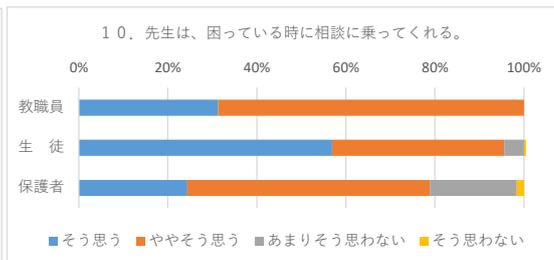
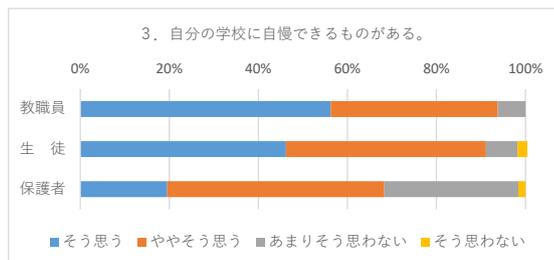
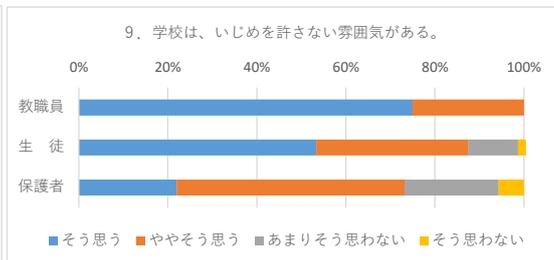
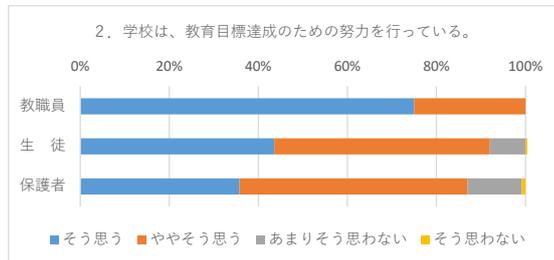
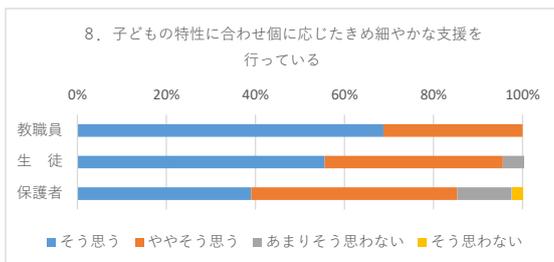
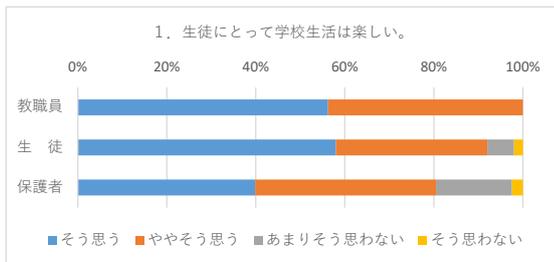
# 令和4年度前期学校評価集計結果

文責：八巻 隆介

4：そう思う、3：ややそう思う、2：あまりそう思わない、1：そう思わない ▼前年比-3%以上 ○前年比+3%以上

No	評価項目	対象	4	3	2	1	肯定	否定	昨年	前年	備考
1	生徒にとって学校生活は楽しい。	教職員	56%	44%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	「楽しい」とは奥の深い言葉であり、「面白い」とはまた違う。誰一人として取り残さない教育を目指し、全員が「達成感」を味わうことができるよう、今まで以上に諸活動の充実を図っていく。
		生徒	58%	34%	6%	2%	92%	8%	92%	8%	
		保護者	40%	41%	17%	2%	80%	20%	81%	19%	
2	学校は、教育目標達成のための努力を行っている。	教職員	75%	25%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	コロナ禍で様々な活動が制限される中、日々の授業や諸活動を工夫し、教育活動の充実にも努める。感染症対策をしながら、できる限り生徒の活動を実施するとともに、学校教育目標に向けた取組を発信していく。
		生徒	44%	48%	8%	0%	92%	8%	89%	11%	
		保護者	36%	51%	12%	1%	87%	13%	86%	14%	
3	自分の学校に自慢できるものがある。	教職員	56%	38%	6%	0%	94%	6%	95%	5%	生徒・保護者ともに昨年度より肯定率が上昇したが、保護者の肯定率はまだまだ低い。生徒たちの頑張りや地域に浸透するまでには、時間がかかる。引き続き、光中生としての誇りをもって生活してほしい。
		生徒	46%	45%	7%	2%	91%	9%	85%	15%	
		保護者	20%	49%	30%	2%	68%	32%	61%	39%	
4	学校は挨拶・返事・清掃・歌声・笑顔のスローガン実現に向けた教育活動が行われている	教職員	63%	38%	0%	0%	100%	0%	95%	5%	スローガンがこれだけ定着していることは光中の誇りの1つだと言っても過言ではない。大切なことは言葉だけにしないこと。生徒会活動を軸とし、自ら考えることにより、諸活動の質を高めていく。
		生徒	48%	51%	1%	0%	99%	1%	94%	6%	
		保護者	44%	47%	9%	0%	91%	9%	89%	11%	
5	先生は、生徒や学校の様子を学年・学校日より等でよく知らせている。	教職員	63%	25%	13%	0%	87%	13%	100%	0%	今年度より、たよりや諸連絡をスクリーンで配信しているが、生徒の活動の様子や学校生活等について、今以上に積極的に情報を発信するとともに、内容の充実を図っていく。
		生徒	55%	40%	5%	0%	95%	5%	92%	8%	
		保護者	46%	45%	8%	2%	90%	10%	92%	7%	
6	学校は、あいさつをきちんとするよう指導している。	教職員	81%	19%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	「日本一の挨拶」をほとんどの生徒たちが意識していることは素晴らしいこと。今後、元気のいい挨拶から丁寧な挨拶、場に応じた挨拶など、光中に関わる全ての方が気持ちよくなるような挨拶運動を推奨していく。
		生徒	65%	32%	3%	0%	97%	3%	95%	5%	
		保護者	29%	44%	25%	2%	73%	27%	79%	21%	
7	先生は、生徒のことをよく理解しようと努力している。	教職員	69%	31%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	この項目での肯定率の上昇は教職員にとって大きな励みとなる。教職員も生徒・保護者も「人」である。当たり前のことはあるが、生徒たちの成長に関わることで、絆を深めていきたい。
		生徒	56%	40%	5%	0%	96%	5%	94%	6%	
		保護者	39%	46%	12%	2%	85%	15%	80%	20%	
8	子どもの特性に合わせて個に応じたきめ細やかな支援を行っている	教職員	69%	31%	0%	0%	100%	0%	90%	10%	インクルーシブ教育の推進を回りつ、個に応じたきめ細やかな支援ができるよう、ICTを活用しながら、今まで以上に生徒、保護者と連携をとりながら進めていく。
		生徒	56%	40%	5%	0%	95%	5%	89%	11%	
		保護者	39%	46%	12%	2%	85%	15%	69%	31%	
9	学校は、いじめを許さない雰囲気がある。	教職員	75%	25%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	全ての生徒が「いじめは絶対に許されない」と正しく認識し、誰もかいいじめの当事者にならないような環境を整えていく。今後も生徒会活動を軸に自治を育み、いじめのない学校づくりを推進していく。
		生徒	53%	34%	11%	2%	88%	13%	86%	14%	
		保護者	22%	51%	21%	6%	73%	27%	77%	23%	
10	先生は、困っている時に相談に乗ってくれる。	教職員	31%	69%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	大人も子どもも悩みのない人はいません。学校がいつでもSOSが出来る場所であるよう、教職員も尽力します。また、保護者の皆様も一人で抱え込むことなく、遠慮なく相談してください。
		生徒	57%	39%	4%	0%	96%	5%	94%	6%	
		保護者	24%	54%	20%	2%	79%	21%	81%	19%	
11	学校は、命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てている。	教職員	75%	25%	0%	0%	100%	0%	95%	5%	学校生活だけでなく、社会に出てからも、自分も他人も大切にす人であってほしい。そして、なるべく「学校のルール=社会のルールやマナー」となるよう、様々な角度から生徒の心を醸成していく。
		生徒	73%	26%	1%	0%	99%	1%	97%	3%	
		保護者	33%	52%	14%	2%	85%	15%	84%	16%	
12	学校は、生徒に基本的な生活習慣を身につけさせようと努めている。	教職員	31%	69%	0%	0%	100%	0%	95%	5%	学校での諸活動の充実も、基本的な生活習慣が土台となっている。引き続き、家庭教育の充実を図るとともに、地域と連携しながら、継続的な指導を進めていく。
		生徒	48%	48%	4%	1%	96%	4%	96%	4%	
		保護者	45%	45%	10%	1%	89%	11%	89%	11%	
13	学校は、環境美化活動やパトロール等、保護者と連携した活動に取り組んでいる。	教職員	13%	31%	56%	0%	43%	56%	80%	20%	コロナ禍の中、親子奉仕作業等が実施できていない。行事の精選は必要であるが、生徒の健やかな成長を図るためには、保護者との連携は必要不可欠である。今後も、より一層連携を深めていきたい。
		生徒	29%	58%	11%	2%	87%	13%	89%	11%	
		保護者	36%	46%	16%	2%	82%	18%	91%	9%	
14	学校行事は、楽しく充実している。	教職員	69%	31%	0%	0%	100%	0%	95%	5%	全ての学校行事に共通することは「『全員が』楽しく、そして、各行事、勉強、生徒会活動、部活動等すべての諸活動がつながっている。保護者の参観や開放等は、更なる工夫を考えていく。
		生徒	62%	32%	5%	1%	94%	6%	93%	7%	
		保護者	45%	42%	10%	3%	86%	13%	79%	21%	
15	部活動は、生徒にとって充実している。	教職員	44%	38%	19%	0%	81%	19%	90%	10%	生徒や保護者だけではなく、地域の方々にとっても、光中学校の部活動に感動を期待する声は多い。部活動の意義を押しさえず、その過程で自分の可能性や生かし方を実感させたい。
		生徒	64%	28%	4%	4%	92%	9%	93%	7%	
		保護者	54%	30%	11%	5%	84%	16%	82%	18%	
16	学校は、生徒に豊かな心を育もうと努力している。	教職員	56%	44%	0%	0%	100%	0%	95%	5%	他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観・職業観など、引き続き教育活動全体を通して育成していく。
		生徒	68%	31%	1%	0%	99%	2%	97%	3%	
		保護者	44%	49%	7%	1%	93%	7%	92%	8%	
17	学校は、自らの生き方や進路について真剣に考える生徒を育てようとしている。	教職員	44%	50%	6%	0%	94%	6%	95%	5%	3年間を見越したキャリア教育の一層の推進により、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。コロナ禍においてもたくましく生き抜くために、生徒のキャリア発達を促していく。
		生徒	45%	43%	9%	3%	88%	12%	91%	9%	
		保護者	29%	51%	19%	1%	80%	20%	78%	22%	
18	先生は、授業に集中させる工夫や指導をしている。	教職員	38%	63%	0%	0%	100%	0%	95%	5%	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必須となり、ICTの活用も含めて教職員は研修を充実させている。灯台下暗しとならないよう、学習規律の確立を見直していく。
		生徒	43%	52%	6%	0%	94%	6%	96%	4%	
		保護者	27%	52%	20%	2%	79%	21%	79%	21%	
19	授業がわかりやすい。	教職員	31%	69%	0%	0%	100%	0%	95%	5%	設問18ともつながるが、生徒たちに「わかった」「できた」を実感させるためには、「生徒指導の機能を生かした『わかる授業』の展開」の徹底が必要である。「継続は力なり」の信念をもち、生徒と向き合っていく。
		生徒	41%	53%	6%	0%	94%	6%	96%	4%	
		保護者	19%	57%	21%	3%	75%	24%	71%	29%	
20	先生は、家庭学習を計画的にできるよう指導している。	教職員	25%	56%	19%	0%	81%	19%	95%	5%	この項目での保護者の肯定率が最も低い結果となったが、教職員も改善の余地があることは自覚している。大切なことは、「目的」である。ICTを活用しながら、身になる家庭学習を模索していく。
		生徒	46%	35%	18%	2%	80%	20%	84%	16%	
		保護者	28%	40%	25%	7%	67%	33%	69%	31%	
21	学校は、学力向上に向けて取り組んでいる。	教職員	38%	63%	0%	0%	100%	0%	90%	10%	今年度から町の指定を受け、学力向上に取り組んでいる。授業改善や資質向上に向けた研修を行い、基礎・基本の定着と個に応じた学習支援の充実を図りながら「確かな学力」の向上につなげていく。
		生徒	54%	42%	4%	0%	96%	4%	93%	7%	
		保護者	27%	51%	19%	3%	78%	22%	71%	29%	
22	学校は、生徒会活動を通して、生徒に自立や自治の力を育もうとしている。	教職員	19%	69%	13%	0%	87%	13%	70%	30%	教育活動において生徒会活動は重要である。決して受け身ではなく、自分たちの学校は自分たちで創っている実感をもたせたい。光中の伝統を引き継ぎながらも、生徒会自ら主体的な活動ができるよう支援していく。
		生徒	39%	54%	6%	1%	93%	7%	92%	7%	
		保護者	27%	55%	18%	0%	82%	18%	81%	19%	
23	学校は、読書活動の推進に向けて取り組んでいる。	教職員	19%	69%	13%	0%	87%	13%	45%	55%	読書に対する意識が、ここ数年、ずっと低かったことは正直意外である。読書活動も「目的」が大切である。読書指導員と連携し、図書室のさらなる利用促進について検討するなど、読書活動の充実を図っていく。
		生徒	25%	39%	26%	11%	64%	36%	57%	43%	
		保護者	24%	50%	25%	2%	73%	27%	70%	30%	

# 令和4年度 前期 学校評価アンケート（まとめ）



# 学校評価アンケート（まとめ）

